

第5次安来市男女共同参画計画(案)に対するご意見の募集 (パブリックコメント)の実施結果について

1. ご意見募集の実施結果について

第5次安来市男女共同参画計画の策定にあたり、先に実施いたしました第5次安来市男女共同参画計画(案)に対するご意見(パブリックコメント)につきましてご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

お寄せいただいたご意見と、それに対する安来市の考え方を実施結果としてまとめて公表いたします。

なお、いただいたご意見は、趣旨を損なわない範囲で一部省略、要約、追記している場合があります。

2. ご意見の募集の概要

- ・実施期間:令和7年1月21日(火)から令和7年2月20日(木)まで
- ・閲覧場所:安来庁舎、広瀬地域センター、伯太地域センター
- ・意見提出者数:3名
- ・意見項目数:5件

3. ご意見の内容と安来市の考え方

項目 番号	いただいたご意見	安来市の考え方
1 1 1 3～1 4	具体的施策を所管部署で機会をとらえて推進につとめられたい	・各所管部署と連携、連絡を密にし計画目標達成に向け推進いたします。

12～14	R6 年度より学童保育の受け入れ人数が減少し、受け入れてもらえなくなった。民間等の受け入れ先も無くて苦慮しているという声がある。学童の受け入れ体制の整備、充実が求められている。	・児童数は年々低下していますが、家庭環境の変化等を背景に放課後児童クラブのニーズは高まっていることは認識しています。現状として、利用者の市街地近辺等の偏りや、年度によってクラブごとの利用者の増減等もあるため、近年の受け入れ率は90%後半で推移しています。令和7年度にはクラブの新設もあり、受け入れ体制は拡充いたします。今後も受け皿となる放課後児童クラブの整備および支援に努めてまいります。
12～14	男性の育休取得について、更に推進啓発してほしい。たとえ1週間などの短時間でも女性にとっては助かるし、その後の協力などにも良い効果につながるという声がある。	・本計画の数値目標で「市職員の男性の育児休業取得率（2週間以上の取得）」と掲げています。第4次計画では、同目標設定を1日からの育児休業取得を対象としておりました。 第5次計画からより長い期間の取得を目指すため、2週間以上の取得といたしましたが、引き続き短い期間の取得も含めて、取得しやすい環境づくりに努めます。
12～14	職場での啓発を行うと共に、市や県、地域全体等で様々な啓発学習活動等により、社会全体の機運醸成を継続していくことが重要と考える。	・「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けて、地域全体で啓発や情報発信に努めます。
	ジェンダーレスが叫ばれる昨今、「男女」と云う文字の使用に少し違和感を覚えます。「男と女しか参画できないのか？セクシャルマイノリティーの人たちは置いてきぼりにされるのか？」例えば「市民共同参画計画」とか、違う表現を考える余地はないのでしょうか？	・未だ男女格差が安来市でも完全に解消されていない現状があり、また国や県も法律に基づき計画を策定しております。安来市として早期に男女格差を解消していくことを第一に考えていますが、セクシャルマイノリティーの方への対応についても重要な内容であると認識しております。計画（案）の基本目標1-基本課題1-(1)具体的施策「男女共同参画社会への意識啓発」の項目の中に、『性的少数者等が、周囲の既成概念のために社会参画を阻害されることがないように啓発を行う。』と追記いたしました。